

第33回塩田まつりでウチワを配付（2025年度）

2025年10月26日（日）、山口県防府市（暮らしお協力団体）の三田尻塩田記念産業公園にて、第33回目となる「塩田まつり」が開催されました。

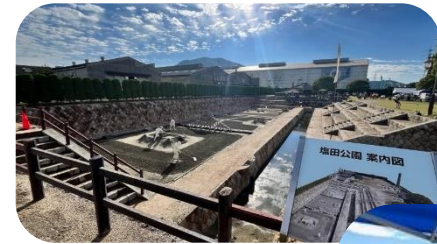
当日は天候にも恵まれ、また地元のテレビやラジオ、フリーペーパーなどで告知されたこともあり、約1,000名の来場と大盛況でした。

おまつりでは、塩浜太鼓や浜子うたの実演、吹奏楽の演奏などが行われたほか、塩浜作業体験、塩たき実演、「塩田を知ろう！クイズ」、また併設の文化財収蔵庫の見学なども行われました。

また、今回は新しい催しとして、防府市のゆるキャラ「ぶっちー」の「ふわふわドーム」、地元企業による販売や体験なども行われました。

当日は、既に暑さも過ぎ去っておりそれほど気温が高くはなりませんが、塩と暮らしを結ぶ運動のウチワを、先着200名にお配りし、熱中症対策に活用いただきました。

「塩田まつり」の各種の催しで、当地が昭和30年代まで塩の大生産地であったことや、「塩」について、改めて多くの方に思いを寄せていただきました。



第32回塩田まつりで塩タブレット等を配付しました。（2024年度）

塩と暮らしを結ぶ運動の協力団体である山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園では、2024年10月27日（日）、今回で第32回目となる「塩田まつり」が開催されました。

地元のテレビやラジオ、フリーペーパーなどで告知されたこと、また天候にも恵まれたことから、当日は1,000名を超える来場があり、大盛況でした。

おまつりでは、塩浜太鼓や浜子うたの実演、吹奏楽の演奏などが行われたほか、塩浜作業体験、塩たき実演、「塩田を知ろう！クイズ」、また併設の資料収蔵庫の見学なども行われました。

また、新型コロナ禍で内容を変更していた「塩田の塩でおむすびをつくろう！」も、お子さまにつくっていただく従来の形に戻し、自分で塩をふりかけて思い思いのおむすびをつくっていただきました。このコーナーが特に人気で、ブースには長蛇の列ができました。

そして、ご来場の方やイベント出演者には、塩と暮らしを結ぶ運動の塩タブレットとウチワをお配りしました。それほど気温が高い日ではありませんでしたが、熱中症対策に活用いただきました。

かつては塩の一大生産地であった当地で、多くの方に、改めて塩に思いを寄せていただく一日となりました。



第31回塩田まつりで塩飴等を配付しました。（2023年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、2023年10月29日（日）に山口県防府市（塩と暮らしを結ぶ運動協力団体）の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第31回塩田まつり」において、塩飴等を配付しました。

塩田まつりでは、塩浜作業体験、釜屋での塩たき実演、塩田の塩でのおむすびづくり、「塩田を知ろう！クイズ」、「中関塩浜唄の会」や幼稚園児による塩浜太鼓の演奏、「浜子うた保存会」の演奏・演技といった塩や塩づくりにちなむ催し、また、地元の高校生による吹奏楽の演奏、バルーンアート、物品販売なども行われました。

また重要有形民俗文化財の製塩用具等が収蔵されている「資料収蔵庫」の見学会も実施されました。

今回、塩と暮らしを結ぶ運動としてのブースの出展は行いませんでしたが、来場者の皆様に、運動の塩飴や冊子『塩と暮らしのあれこれBook』をお配りしました。

当日は天候にも恵まれ、1,000名超の来場がありました。大勢の方に、改めて、塩や塩づくりに興味を持っていただくことができました。また、塩飴は500セットを配付しましたが、好天で気温が高かったこともあり、とても喜んでいただきました。



第30回塩田まつりで暮らしおグッズを配付しました。（2022年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、2022年10月23日（日）に山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第30回塩田まつり」において、暮らしおグッズを配布しました。

新型コロナウイルスの影響の続く中、2022年度も、来場者の検温、マスクの着用や手指の消毒の徹底など、厳重な対策の上での開催となりました。

今回は、塩と暮らしを結ぶ運動としてのブースの出展は行いませんでしたが、来場者のみなさまに、暮らしおグッズ（塩と暮らしのあれこれBOOK、塩イルカマグネット、塩イルカクリアファイル）を提供しました。

塩田まつりでは、塩浜作業体験、釜屋での塩たき実演、「中関塩浜唄の会」や幼稚園児による塩浜太鼓の演奏、「塩田を知ろう！クイズ」、といった塩田や塩づくりにちなむ催しや、地元の高校生による吹奏楽の演奏、バルーンアート、物品販売なども行われました。

また、「資料収蔵庫」（重要有形民俗文化財の製塩用具などが収蔵されています）の見学会も実施されました。

当日は天候にも恵まれ、約900名の来場があり、大いに賑わいました。そんな中で、500名の方に、暮らしおグッズをお渡しし、塩と暮らしの関わりについてお伝えしました。



第29回塩田まつりで塩飴を配付しました。（2021年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、2021年10月31日（日）に山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第29回塩田まつり」において、塩飴を配布しました。

新型コロナウイルスの影響で、2020年度は中止となった塩田まつりですが、2021年度は、来場者の検温、マスクの着用や手指の消毒の徹底など、厳重な対策の上で、開催されました。

今回は、塩と暮らしを結ぶ運動としてのブースの出展は行いませんでしたが、来場者に、くらしおの塩飴を提供しました。例年、おまつりの最後に行われていた「もちまき」を、今回は、密を避けるため、来場時におもちやお菓子をお配りする形に切り替えましたが、その中に塩飴も同封しました。

おまつりでは、塩浜作業体験、釜屋での塩たき実演、「中関塩浜唄の会」や「浜子うた保存会」による実演、「塩田を知ろう！クイズ」、幼稚園児による塩浜太鼓の演奏といった塩田や塩づくりにちなむ催しや、地元の高校生による吹奏楽の演奏、アーティストによるオカリナとギターの演奏、バルーンアート、物品販売なども行われました。また、新設の「資料収蔵庫」（重要有形民俗文化財の製塩用具などが収蔵されています）の見学会も実施されました。

当日は天候にも恵まれ、また2年ぶりの開催だったこともあり、約900名の来場があり、大いに賑わいました。そんな中で、400名の方に、塩飴をお渡しし、熱中症予防に役立てていただきました。



第28回塩田まつりにブース出展しました。（2019年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年10月20日（日）に山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第28回塩田まつり」に、昨年度に引き続き、ブース出展しました。

今年度の塩田まつりは天候に恵まれた中で開催され、例年同様に、塩田作業体験や塩浜太鼓やなどのたくさんのイベントが実施されました。

今年度も、地元の防府市（運動の協力団体）、近隣の塩卸売会社である山口塩元売株式会社（全国塩元売協会会員）及び当地にご縁のある日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）の協力のもと、ブースを出展し、「塩と暮らしのなるほどクイズ」や「輪投げ」を実施しました。

「塩と暮らしのなるほどクイズ」では、塩に関するクイズを実施し、参加いただいた方には、塩と暮らしの関わりについても学んでいただくべく、冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』をお配りしました。

また、輪投げはお子様に大人気でした。参加いただいたお子様には、景品として運動のマグネットやクリアファイル、風船、シールを差し上げました。特に風船が人気でした。

当日は、イベント全体では約1,000名の来場があり、大変賑わいました。塩と暮らしを結ぶ運動では、熱中症対策として塩飴を約500名の方に配布したほか、クイズ及び輪投げには170名の方が参加いただくなど、塩と暮らしの関わりについてお伝えしました。



クイズを実施したブース

大人気の輪投げ



もち・菓子まき

第27回塩田まつりにブース出展しました。(2018年度)

塩と暮らしを結ぶ運動では、2018年10月21日（日）に山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第27回塩田まつり」に、昨年度に引き続き、ブース出展しました。

昨年度は台風のために多くのプログラムが中止になりましたが、今年度は快晴で、塩たき実演や塩田作業体験、吹奏楽、塩浜太鼓や浜子うたの演奏、最後のもち・菓子まきまで、たくさんの催しが行われました。

そのような中、防府市（運動の協力団体）、地元の山口塩元売株式会社（全国塩元売協会会員）及び当地の塩田経営者の子孫が代表を務める日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）が協力して、ブースを運営しました。

ブースでは、「塩の結晶を見てみよう！」と題して、三田尻塩田記念産業公園の塩、普通の食塩及び海外の湖塩の3種類の結晶を拡大鏡で覗き、どれがどの塩か当てるというクイズと、お子様向けに輪投げを実施しました。

身近にある塩ですが、結晶を拡大して見ることはあまりないので、同じ塩でもつくり方などで様々な形の結晶になることに、参加した皆様は大変驚いておられました。

結晶を覗いていただいた皆様には、塩の結晶にもいろいろあることに興味を持っていただいたことをきっかけとして、さらに塩と暮らしの関わりについても学んでいただくべく、冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』をお配りしました。

また、輪投げはお子様に大人気でした。参加いただいたお子様には、輪が入った回数に応じて運動のマグネットやクリアファイル、風船を差し上げました。貰った風船をさっそく膨らませて持ち歩くお子様も多くおられました。

当日は、イベント全体では約1,000名の来場があり、大変賑わいました。塩と暮らしを結ぶ運動では、その中で、約300名の方に、改めて塩に興味をもっていただくとともに、塩と暮らしの関わりについてお伝えしました。



結晶を覗く
子どもたち



大人気の
輪投げ



もち・菓子
まき

第26回塩田まつりにブース出展しました。(2017年度)

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2017年10月22日（日）に山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第26回塩田まつり」（主催：三田尻塩田記念産業公園保存会）に、ブース出展しました。

山口県防府市は江戸時代中期から昭和30年代まで、全国有数の塩の産地として栄えた町です。かつての塩田跡地にあるこの公園には、入浜式塩田の施設が復元されており、塩田作業の体験もできます。また塩づくりの道具類や、塩づくりの様子を紹介などの展示もされています。

この公園では、毎年、「塩田まつり」が開催されており、塩の釜たたき実演や塩づくり体験、塩づくりに関するクイズなど、塩づくりについての理解を深めるためのプログラムが実施されています。

今回、このおまつりに、近隣の塩卸売会社である山口塩元売株式会社（全国塩元売協会会員）及び当地にご縁のある日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）の協力のもと、ブースを出展し、パネルを使った「塩と暮らしのなるほどクイズ」を実施しました。

当日は、台風21号の接近により大雨に見舞われ、予定されていた多くのプログラムも中止となり、塩田まつりへの来場者も200名程度でしたが、その中で約80名の方にクイズに参加いただきました。

クイズの参加者には運動のリーフレット、マグネット等も配布し、塩のつくり方だけでなく、塩と暮らしについても、理解を深めていただきました。

雨天の
塩田公園



屋内で
クイズを
実施



参加者への
配布物

